

◆ 元気なあいさつ 明るい歌声 笑顔あふれる中央中学校

中央中だより

あいさつ + 無言清掃 + 素直さ + 気遣い = 中央中学生

令和8年 3月 第15号
校長 稲葉 正
中央中さわやか相談室 3階
相談室 ☎ 2959-9591

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます

令和7年度 卒業生の埼玉県特別表彰等 3月11日(水)

(1) 令和7年度 埼玉県教育委員会 児童・生徒表彰

3年4組 ○○○○ さん

(2) 令和7年度 体育優良児童・生徒表彰

3年1組 ○○○○ さん、 3年2組 ○○○○ さん

(3) 令和7年度 埼玉県産業教育振興会小・中学校優良卒業生表彰

3年3組 ○○○○ さん

大成功！素晴らしかった三年生を送る会～「宇宙」～ <3月4日>

三年生を送る会が、3月4日(水)の5、6校時に開かれました。会全体は、「宇宙」をテーマに3年生への感謝の気持ちを表現していきました。装飾としては、3年生の廊下から体育館の会場までたくさんの星やロケットを掲示し、広い宇宙が表現され、無数の星がそれぞれの光を放ちながら支え合う様子が表現されていました。体育館の入り口には、「キラキラと輝く先輩は私たちのスターです」というメッセージが掲げられ、3年生の皆さんが3年間それぞれの“宇宙”の中で輝き続けてきた姿を映し出しているようでした。当日の朝には3年生の一人一人の机に心のこもった「招待状」も置かれていました。



オープニングは副実行委員長の○○○○さんの挨拶から始まり、それぞれのステージ発表となりました。1年生の発表は、インタビューに答えながら3年間を振り返る動画に続き、学年全員で「あなたに会えて」の合唱をしました。2年生の発表は、3年間を振り返る寸劇を行い、最後は学年全員で「YELL」の合唱をしました。わかたけ学級の発表は、集団行動に続き、伝統の「創作ソーラン」そしてペンライトを使ったパフォーマンスで会場を盛り上げてくれました。部活メッセージでは、部長全員がステージに上がり、3年生に向けて一言ずつ感謝のメッセージを伝えました。

--	--	--	--

1年生の発表

2年生の発表

わかたけ学級の発表

部活メッセージ

3年生の発表は、3年間の様々な場面を振り返る寸劇に続き、最後は学年全員で「オワリはじまり」の合唱をし、曲の後半は3年生がフロアー全体を囲むように移動し、1・2年生も一緒に大合唱となりました。

エンディングのくす玉セレモニーでは右ギャラリーから発射された「羽ばたけ3年生」ロケットが地球を模したくす玉まで到着し、見事にくす玉が割れて「卒業おめでとう」の垂れ幕が現れました。



3年生の発表

くす玉

最後は実行委員長の〇〇〇〇さんが挨拶をし、3学年主任の〇〇教諭が会のお礼を述べて三年生を送る会が終了しました。

1・2年生の3年生への感謝の気持ちがとてもよく伝えられたと思います。それと同時に、この行事を通して、1・2年生は、これから中央中を背負っていくという覚悟が感じられました。感動的で、とても素晴らしい三年生を送る会でした。こんな素晴らしい三年生を送る会ができる中央中がとても誇らしく思いました。生徒の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。

おめでとう！ 中央中生、活躍しています！（敬称略）

令和7年度狭山市交通安全作品 <3月2日>

- スローガンの部 優秀賞：1-5〇〇〇〇、2-4〇〇〇〇、3-4〇〇〇〇 / 佳作：2-3〇〇〇〇
- 手紙部 優秀賞：2-1〇〇〇〇 / 佳作：2-2〇〇〇〇
- ポスターの部 優秀賞：1-4〇〇〇〇、3-4〇〇〇〇 / 佳作：3-1〇〇〇〇

令和8年3月13日(金) 第41回卒業証書授与式 校長式辞

式辞 ※縦書きの書式だったため、数字が漢数字になっています。

新しい息吹が満ちあふれる春の季節を迎えようとしています。

本日は、ご多用の中、狭山市長 〇〇〇〇 様、教育委員会学校教育部長 〇〇〇〇〇 様、狭山市議会議員 〇〇〇 様、同じく〇〇〇〇 様、本校PTA会長 〇〇〇〇 様、学校運営協議委員の皆様のご臨席のもと、第四十一回卒業証書授与式が挙げてできますことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

百五十名の卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

皆さんは、中央中学校にたくましく素晴らしい足跡を残してくれました。奈良・京都の歴史に触れた修学旅行、友情を育んだ部活動、学校生活を充実させた委員会活動、二日に分かれても熱気に満ちた体育祭、市民会館大ホールに歌声を響かせた音楽会など、どれもが、皆さんの力で学校を良い方向へと導いてくれました。また、中央中学校伝統の挨拶、無言清掃、素直さ、気遣いを日々の行動で実践してくれました。そして、辛いことや困難なことがあっても力強く乗り越えてきました。その姿はとても頼もしく、誇らしいものでした。素晴らしい三年生でした。本当にありがとうございました。

私から一言を贈ります。

「自分はいつでも主人公」ということです。人は生きていく上で、楽しいことがあったり、くやしいことがあったりします。それらが混ざり合って人生をつくっていくことになりませんが、それはひとつのドラマです。このドラマにあっては、「主人公は自分しかいません」誰も代役はいないのです。一見はつまらなそうな場面さえ、このドラマの主人公は自分であって、活躍している他人ではありません。そして、そのドラマの筋書きは自分で決めることができます。夢や希望を持ち、心の中に、なりたい自分を思い描きながら前に進んでいってください。そうなるように努力を続けてください。病氣と闘う校長でさえ、自分のドラマの主人公として復活し、将来卒業生の活躍を見届けるシナリオを描いています。これからの人生においても、どんな場面であっても皆さんは、自分のドラマの主人公です。その時々「今」を一生懸命に生きてください。そうしていくことで素晴らしい未来が開けていくと思います。応援しています。

結びに、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。今日まで、慈しみ育まれ、愛情を注がれてきたご家族の皆様にとって、本日のお子様の晴れ姿を見ることは、計り知れない喜びだろうと拝察いたします。保護者の皆様の長い間のご労苦に敬意を表するとともに、お子様の成長をあらためてお祝い申し上げます。加えて、三年間、本校の教育の充実と発展のため、様々な面でご理解とご支援を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。

また、公私共ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様へ御礼を申し上げます。

卒業生の皆さんのそれぞれの進路でのさらなるご活躍をお祈りするとともに、洋々たる前途をお祝いして、式辞といたします。

令和八年三月十三日

狭山市立中央中学校校長 稲葉 正